

① 適正な土地利用の推進

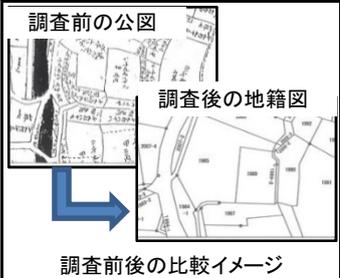
継続	地籍調査事業費	4,681万円
		(前年度) 6,088万円
担当課	農林畜産課	電話番号 74-8094

1. 本市の現状と課題
本市の地籍調査進捗率は平成30年度末の時点で約45%であり、富山県平均を上回っています。本事業では、法務局に備え付けられている公図と登記簿の情報をもとに、土地に関する記録を正確に整備し地籍の明確化を図るため、計画的に地籍調査を実施しています。

2. 平成31年度事業の内容
今年度は①森寺及び指崎の集落周辺(森寺Ⅱ・指崎調査区)と②森寺城址周辺(森寺Ⅰ調査区)の2箇所で地籍調査を行います。①では、現地での地積測量及び地積計算を行います。②では、図面の作成を行い、その出来上がった図面を住民の方々に閲覧していただく機会を設けます。

3. 目標値または実施により求める効果
調査が完了すると土地に関する情報が明らかになり、境界をめぐるトラブルの未然防止や土地取引の円滑化につながります。また、災害時には災害箇所の早期復旧に役立ちます。

		(単位: 万円)			
財源	県の負担	2,994	経費内訳	委託料	3,858
	手数料	3		賃金	484
	市の負担	1,684		その他	339



調査前後の比較イメージ

新規	まちなか整備事業費	594万円
		(前年度) -
担当課	都市計画課	電話番号 74-8078

1. 本市の現状と課題
「氷見まちなかランドデザイン」及び「氷見市立地適正化計画」に基づき、まちなか市街地の魅力向上や賑わいの創出を図ると共に、持続可能な都市構造を目指す必要があります。

2. 平成31年度事業の内容
氷見駅は、富山湾の海岸線を走るJR氷見駅の最終駅であり、まちの玄関口です。駅前広場やその周辺の歩行者空間などの利便性の向上を図るため、駅周辺整備に係る基本計画を作成します。また、駅前広場に接する道路(市道氷見駅朝日線)の街路灯整備の実施設計を行います。

3. 目標値または実施により求める効果
駅前広場の一部を拡張し、現在一方通行のロータリーを一部二車線とすることなどで、スムーズな交通導線を確認し、利用者の利便性向上を図ります。また、駅前道路の街路灯を整備することで、歩行者の利便性向上を図ります。

		(単位: 万円)			
財源	国の負担	135	経費内訳	委託料	579
	市債	170		旅費	9
	市の負担	289		使用料及び賃借料	6



駅前広場の拡張によるスムーズな導線確保

① 適正な土地利用の推進

継続	都市計画再構築事業費		904万円		
		(前年度)	1,275万円		
担当課	都市計画課	電話番号	74-8078		
1. 本市の現状と課題					
<p>本市における都市計画道路は現在23路線・全長約72kmありますが、改良率は約83%となっており、11路線・約12kmが長期未着手となっています。長期未着手となっている都市計画道路沿線の方々には、法令に基づき、建築の制限を行ってきたものの、長期にわたり、道路工事に着手できていません。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>今後も人口減少が進むと予想されていることなどから、都市計画道路の必要性を再検証し、市民の皆様をはじめ、有識者などからのご意見を伺いながら、都市計画道路の廃止を含めた見直しの検討を行います。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>人口減少などの社会情勢の変化に応じた都市計画道路網の再構築を図ります。</p> <p>例えば都市計画道路を廃止した場合は、その沿道において鉄筋コンクリートの建物などが建設できるようになります。</p>					
(単位:万円)					
財源	国の負担	285	経費内訳	委託料	855
	市の負担	619		報償費	41
			その他	8	



都市計画道路 [氷見伏木線]
写真手前は整備済 写真奥は未着手

② 快適な住空間づくり

拡充	空き家活用まちづくり事業費	911万円			
		(前年度) 350万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
1. 本市の現状と課題					
<p>空き家が増えると予想される中、空き家そのまま放置されると、老朽化の進行とともに、外壁や瓦などの落下、倒壊など周囲に危険を及ぼす恐れがあります。そうなる前に空き家の改修を行い、移住される方などへ貸し出す等、住まいとして有効活用してもらうことで、地域資源の再生に取り組みます。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>空き家を改修し空き家情報バンクに登録していただける方へ改修等に要する経費の1/2(上限100万円)を助成します。今年度から新たに市が空き家を借り上げ、所有者に代わりリフォームし、賃貸希望者へ貸し出すモデル事業を行います。また、歴史的建造物である土蔵を有効活用しながら保存していきます。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>歴史的に価値のある建造物や負の遺産として捉えがちな空き家を地域資源として活用することで、まちに新たな魅力を創出していきます。</p>					
		(単位:万円)			
財源	県の負担	50	経費内訳	工事請負費	400
	その他	309		補助及び交付金	200
	市の負担	552		その他	311
					
				空き家の改修	

継続	危険老朽空き家対策事業費	840万円			
		(前年度) 1,120万円			
担当課	地域振興課	電話番号 74-8075			
1. 本市の現状と課題					
<p>本市の人口は今後一層減少することが予想され、空き家は益々増加することが見込まれます。そのため、市内の空き家の個別の状態や分布状況などを十分に把握した上で、それに応じた対策を検討・実施していく必要があります。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>市街地の危険老朽空き家において、市に土地建物を寄附した場合、市が解体撤去を行います。市内の危険老朽空き家のうち、特に解体撤去の必要性が認められる個人が所有する住居の解体撤去を行う場合、対象となる除却費の2/3(上限50万円)を補助します。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>危険老朽空き家を除去し、地域住民の生命、身体および財産を保護するとともに、その生活環境の保全を図ります。</p>					
		(単位:万円)			
財源	基金繰入金	480	経費内訳	工事請負費	570
	国の負担	353		補助及び交付金	250
	市の負担	7		役務費	20
					
				危険老朽空き家	

② 快適な住空間づくり

拡充	都市公園整備事業費(朝日山公園整備事業費)	5,250万円			
		(前年度)	5,333万円		
担当課 都市計画課		電話番号	74-8076		
1. 本市の現状と課題					
朝日山公園は、氷見市地域防災計画において市街地全域の緊急避難場所に指定されており、市街地に隣接した高台の避難場所として位置づけられています。市民の皆様からのご意見を公園整備に反映し公園利用者の増加や安全性の向上を図ります。					
2. 平成31年度事業の内容					
本公園は市内随一の展望地であり、多くの市民の憩いの場となっております。					
本市の目指す「海と緑の自由都市」の都市空間を創出するため、親水空間を中心とした緑あふれるエリア及び休憩施設周辺の憩いのエリアの整備を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
賑わいのある公園にするため、公園を訪れた市民の皆様からのご意見を聞きながら、市民の皆様が自ら企画し、利用する公園づくりに取り組み、魅力あふれる公園整備を行います。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	2,500	経費内訳	工事請負費	5,000
	市債	2,750		給料	164
	市の負担			その他	86
朝日山公園休憩施設					



朝日山公園休憩施設

拡充	安全・安心とやまの住まい耐震化促進事業費	114万円			
		(前年度)	60万円		
担当課 都市計画課		電話番号	74-8079		
1. 本市の現状と課題					
近年大地震が多発している現状にあり、地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を未然に防止しなければなりません。住宅耐震化の必要性について市民の関心は薄いため、これを周知し、住宅耐震化を推進する必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
耐震性が無いと想定される木造住宅の所有者へ、耐震化を促すダイレクトメールを送付します。					
木造住宅の耐震改修費用の一部を助成します。					
平成31年度より助成限度額を60万円から100万円に引き上げ、本事業実施を促進します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
地震発生時における木造住宅の倒壊等による災害を未然に防止します。					
(単位:万円)					
財源	県の負担	50	経費内訳	補助及び交付金	100
	国の負担	32		通信運搬費	14
	市の負担	32			
耐震改修啓発チラシ					



耐震改修啓発チラシ

② 快適な住空間づくり

拡充	公営住宅長寿命化事業費	3,182万円			
		(前年度) 2,400万円			
担当課	都市計画課	電話番号 74-8079			
1. 本市の現状と課題					
公営住宅は園団地を除き老朽化が進んでいます。人口減少が進む中、公営住宅の需要は横ばいで、施設の計画的な維持管理(修繕・改修)を行い長寿命化していく必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
公営住宅長寿命化計画を改定します。(2021～2030年度計画)					
朝日丘市営住宅1号棟外壁外断熱改修工事、朝日丘市営住宅3号棟屋上断熱防水改修工事、大野市営住宅内部改修水洗化工事を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
公営住宅長寿命化計画に基づき、ライフサイクルコストの削減を目指します。					
また、安全で快適な住まいを確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	1,408	経費内訳	工事請負費	2,600
	市の負担	1,774		委託料	582
					
朝日丘市営住宅1号棟					

継続	設備拡張事業【事業会計】	4,480万円			
		(前年度) 6,460万円			
担当課	上下水道課	電話番号 74-8208			
1. 本市の現状と課題					
基幹管路(φ400mm以上)において、配水支管の整備の遅れから、やむなく給水分岐を行っている状況が82件あります。そのため、漏水発生など強靱な水道施設の構築に悪影響を与えることが懸念されています。					
2. 平成31年度事業の内容					
φ50～100mm 配水用ポリエチレン管、ダクタイル鋳鉄管 L=585mを布設します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
2021年度末までに基幹管路(φ400mm以上)における給水分岐件数0件を目指します。					
(単位:万円)					
財源	一般財源	4,480	経費内訳	施設費	4,400
				委託料	50
				その他	30
					
給水活動の様子					

② 快適な住空間づくり

継続 老朽管更新事業【事業会計】

3億6,308千円

(前年度) 3億7,461千円

担当課 上下水道課

電話番号 74-8208

1. 本市の現状と課題

耐用年数40年を経過した耐震性のない管路の更新、漏水事故が多発する管路の更新、鉛給水管の更新を併せて、計画的に更新を行っています。人口減少や市民の節水志向により、水需要は減少しており、将来の水需要予測を踏まえた適正な口径での管路更新が必要となっています。

2. 平成31年度事業の内容

φ50～150mm 配水用ポリエチレン管、ダクタイル鋳鉄管 L=4,451mを布設替します。

3. 目標値または実施により求める効果

管路の耐震化により、災害に強い強靱な水道管路の構築を図ります。

(単位:万円)

財源	市債	17,840	経費内訳	施設費	33,410
	一般財源	14,119		委託料	2,270
	その他	4,349		その他	628



更新された配水管

③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

拡充	街路リフレッシュ整備事業費	1,575万円			
		(前年度)	1,041万円		
担当課	道路課	電話番号	74-8074		
1. 本市の現状と課題					
昭和13年の大火復興以降に施工された市街地の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
2. 平成31年度事業の内容					
中央町地内新町2号線ほか5路線について、蓋掛け等側溝改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市街地の老朽化した側溝を改修することにより、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	765	経費内訳	工事請負費	1,500
	市債	810		消耗品費	20
				その他	55



継続	道路維持補修事業費	9,637万円			
		(前年度)	1億845万円		
担当課	道路課	電話番号	74-8074		
1. 本市の現状と課題					
安全かつ快適・円滑な交通環境を確保するため、市道の適正な維持管理に努めるとともに、道路修繕や草刈等に関する地域からの要望に応じていく必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
地域からの要望に伴う道路修繕のほか、泊地内市道瀬間田4号線ほか9路線の道路補修を行います。草刈や路面清掃など道路の維持管理に努めます。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市道の適正な維持管理に努め、安全かつ快適・円滑な交通環境を確保します。					
(単位:万円)					
財源	国の負担	510	経費内訳	工事請負費	2,905
	市債	2,790		修繕料	1,900
	その他	6,337		その他	4,832



③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

継続	道路舗装補修事業費		6,030万円		
			(前年度) 7,051万円		
担当課		道路課	電話番号 74-8074		
1. 本市の現状と課題					
道路パトロールを定期的に行い、必要に応じて道路舗装の損傷箇所を補修しています。また、舗装修繕に関する地域からの要望にも応えていく必要があります。					
2. 平成31年度事業の内容					
堀田地内堀田五十里線ほか9路線について舗装補修を行うほか、地域からの要望修繕にも出来る限り対応します。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市道の舗装補修を行うことにより、安全・安心な交通環境を確保します。					
(単位: 万円)					
財源	市債	5,130	経費内訳	工事請負費	5,000
	市の負担	900		修繕料	900
				その他	130



継続	道路空間整備事業費		2,594万円		
			(前年度) 3,125万円		
担当課		道路課	電話番号 74-8074		
1. 本市の現状と課題					
市街地近郊の道路側溝の老朽化が著しく、道路側溝の計画的な改修が必要となっています。					
2. 平成31年度事業の内容					
七分一地内大野七分一線ほか5路線について、蓋掛け等側溝改修を行います。					
3. 目標値または実施により求める効果					
市街地近郊の老朽化した側溝を改修することにより、自動車や歩行者の安全な通行を確保します。					
(単位: 万円)					
財源	国の負担	944	経費内訳	工事請負費	2,500
	市債	1,650		消耗品費	24
				その他	70



③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

拡充 辺地債道路整備事業費		7,170万円					
		(前年度) 6,570万円					
担当課	道路課	電話番号 74-8074					
1. 本市の現状と課題							
<p>氷見市は三方を山々に囲まれ、その中山間地には多くの集落が点在し生活する人々の安心で安全な交通機能の確保が急がれており、辺地対策事業債を活用して9路線の道路整備を進めています。</p>							
2. 平成31年度事業の内容							
<p>市道三尾見内線(測量設計1式)、市道吉池山川線(補償1式 交差点改良1箇所)、市道磯辺村木線(補償1式)、市道深原三田窪線(用地補償1式)、市道棚懸坪池線(測量設計1式)、市道朴の木山木線(道路改良L=35m)、市道熊無一の瀬線(道路改良L=200m) 等の整備を行います。</p>							
3. 目標値または実施により求める効果							
<p>狭隘で見通しの悪いカーブ区間改良(三尾見内線・吉池山川線・深原三田窪線)、見通しの悪い交差点改良(磯辺村木線)、浸水被害対策と交差点改良(朴の木山川線)、狭隘区間の解消(熊無一の瀬線・惣領鞍骨線・白川向出線・棚懸坪池線)を図ります。</p>							
(単位:万円)							
財源	市債	7,170					
	経費内訳	<table border="1"> <tr> <td>工事請負費</td> <td align="right">4,270</td> </tr> <tr> <td>補償及び補填金</td> <td align="right">1,502</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td align="right">1,398</td> </tr> </table>	工事請負費	4,270	補償及び補填金	1,502	その他
工事請負費	4,270						
補償及び補填金	1,502						
その他	1,398						



最終年度を迎える市道熊無一の瀬線

拡充 市単道路改良事業費		6,460万円					
		(前年度) 4,960万円					
担当課	道路課	電話番号 74-8074					
1. 本市の現状と課題							
<p>市民生活に密着する生活道路について、安全性の確保や利便性の向上を目的とした数多くの要望があります。このような声に対し、地域の実情に応じた道路機能を確保するため市単道路改良事業にて、6路線の整備に取り組んでいます。</p>							
2. 平成31年度事業の内容							
<p>市道大浦3号線(道路改良L=400m)、柳田西1号線(用地補償1式)、市道鞍川2号線(道路改良L=36m)、市道瀬間田3号線(測量設計1式)、市道幸町11号線(測量設計1式)、市道指崎稻積線(補償1式)の整備を行います。</p>							
3. 目標値または実施により求める効果							
<p>集落内における行止まりの解消(鞍川2号線)、新文化施設周辺の歩行空間確保(幸町11号線)、狭隘区間の拡幅改良(柳田西1号線・指崎稻積線)、冬期間の上り坂における付加車線整備(大浦3号線)等を図ります。</p>							
(単位:万円)							
財源	市債	6,460					
	経費内訳	<table border="1"> <tr> <td>工事請負費</td> <td align="right">4,850</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td align="right">940</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td align="right">670</td> </tr> </table>	工事請負費	4,850	委託料	940	その他
工事請負費	4,850						
委託料	940						
その他	670						



狭隘区間の解消(市道柳田西1号線)

③ 能越自動車道、幹線道路から生活道路までの道路ネットワークづくり

拡充 社会資本整備総合交付金道路改良事業費

2億1,452万円

(前年度) 1億9,580万円

担当課 道路課

電話番号 74-8074

1. 本市の現状と課題

市内の道路網を形成する幹線市道において、安全・円滑・快適に通行できる道路本来の持つ機能が今だ確保されていない路線が数多く存在します。これらの路線整備は事業規模が大きく、国の社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金事業を活用し、4路線の整備を進めています。

2. 平成31年度事業の内容

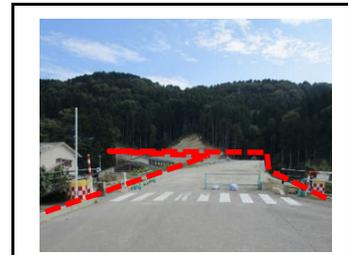
市道鞍川霊峰線バイパス(道路改良L=810m(暫定))、市道下久津呂深原線(道路舗装L=200m)、市道上庄中央線(道路詳細設計・用地測量1式)、市道大浦石坊線(道路改良 L=100m)の改良を行います。

3. 目標値または実施により求める効果

交通ネットワークの多重化や国道への渋滞解消、そして防災支援(鞍川霊峰線)、県道整備に合わせた道路ネットワークの強化(上庄中央線・下久津呂深原線)、狭隘住居連たん区間における歩行者空間の安全確保(大浦石坊線)を図ります。

(単位:万円)

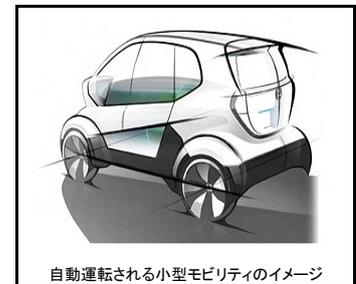
財源	国の負担	10,532	経費内訳	工事請負費	17,645
	市債	10,920		補償及び補填金	1,100
				その他	2,707



ふれあいの森へ整備が進む鞍川霊峰線BP

④ 地域交通の確保

新規	新交通システム導入検討事業費	462万円		
		(前年度)	-	
担当課	地域振興課	電話番号	30-2949	
1. 本市の現状と課題				
<p>中心市街地を、本市の発展を牽引する「賑わい・交流・活力」を生み出す場所とするため、本市への来訪者の「移動の快適性の確保」と「まちなかの回遊性の向上」が必要です。</p>				
2. 平成31年度事業の内容				
<p>本市で「まんがのまちづくり」を計画している中心市街地をテーマパークの様に見立て、回遊する新たな移動手段について、調査・研究・検討及び実証実験(試走)を行うなど、検討会やワーキング部会を開催して、運行計画の策定を進めます。</p>				
3. 目標値または実施により求める効果				
<p>中心市街地への流入者の増を図ります。</p>				
		(単位:万円)		
財源	国の負担	160	経費内訳	
	市の負担	302		
			委託料	342
			旅費	53
			その他	67



拡充	NPOバス運営推進事業費	3,151万円		
		(前年度)	1,921万円	
担当課	地域振興課	電話番号	30-2949	
1. 本市の現状と課題				
<p>中山間地域などでは、路線バスの維持が困難な地域があります。これらの地域では特定非営利活動法人によりNPOバスが運行されており、この移動手段を維持・確保するため、NPOバスの運行を支援する必要があります。</p>				
2. 平成31年度事業の内容				
<p>NPOバスを運行する特定非営利活動法人に対し、NPOバスの運行に係る費用の一部を補助します。また、公共交通空白地有償運送を実施するために必要な「氷見市過疎地域有償運送運営協議会」やNPOバス業者と連絡調整を行う「氷見市NPOバス事業者連絡協議会」を開催します。</p>				
3. 目標値または実施により求める効果				
<p>中山間地域などにおける移動手段を確保します。</p>				
		(単位:万円)		
財源	県の負担	881	経費内訳	
	市の負担	2,270		
			補助及び交付金	3,150
			食糧費	1



④ 地域交通の確保

継続	生活路線バス維持対策事業費	25万円									
		(前年度) 465万円									
担当課	地域振興課	電話番号 30-2949									
1. 本市の現状と課題											
生活路線バスは通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支える公共交通機関として重要な役割を果たしていることから、利用の促進を図り、路線の維持・確保に努める必要があります。											
2. 平成31年度事業の内容											
水見市地域公共交通会議を開催するほか、路線バス乗降調査を行います。											
3. 目標値または実施により求める効果											
通勤、通学、通院、買い物などの地域住民の日常生活を支えるバス路線を維持・確保します。											
(単位: 万円)											
財源	市の負担 25	<table border="1"> <tr> <td>経費内訳</td> <td>委託料</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>食糧費</td> <td>1</td> </tr> </table>	経費内訳	委託料	16		旅費	8		食糧費	1
経費内訳	委託料	16									
	旅費	8									
	食糧費	1									
		 <p>市内を走る路線バス車両</p>									

継続	城端・氷見線地域公共交通総合連携事業費負担金	395万円						
		(前年度) 496万円						
担当課	地域振興課	電話番号 30-2949						
1. 本市の現状と課題								
JR氷見線は、JR城端線と一体となって通勤・通学など沿線住民の日常生活を支えるとともに、本市への来訪者が利用する公共交通機関として重要な役割を果たしているほか、北陸新幹線新高岡駅へのアクセス路線として重要な役割を担っていることから、両線を維持し、利便性を向上させる必要があります。								
2. 平成31年度事業の内容								
城端・氷見線活性化推進協議会が実施する城端・氷見線の活性化のための事業の負担金を拠出します。協議会が実施する事業には、観光列車「べるもんた」車内でのおもてなし、両線利用状況調査、両線の直通化に向けた調査検討業務、氷見市街地周遊バス乗継助成をはじめとした利用促進対策などの事業があります。								
3. 目標値または実施により求める効果								
JR氷見線・城端線の利便性を向上させ、路線を維持することで、沿線住民の日常生活を支えます。また、北陸新幹線新高岡駅の利用者を飛越能地域に行き渡らせることで、地域経済を活性化させます。								
(単位: 万円)								
財源	市の負担 395	<table border="1"> <tr> <td>経費内訳</td> <td>負担金</td> <td>386</td> </tr> <tr> <td></td> <td>旅費</td> <td>9</td> </tr> </table>	経費内訳	負担金	386		旅費	9
経費内訳	負担金	386						
	旅費	9						
		 <p>氷見線を走る忍者ハットリくん列車</p>						

⑤ 情報通信基盤の整備・活用

新規	ケーブルテレビネットワーク光化推進事業費		3億3,152万円		
			(前年度) -		
担当課 秘書広報課		電話番号 74-8201			
1. 本市の現状と課題					
<p>中山間部の有線テレビジョン放送事業に係る設備は、設置後15年以上が経過しています。そのため老朽化が著しく、更新の必要があります。</p>					
2. 平成31年度事業の内容					
<p>老朽化したケーブルテレビ施設を更新し、現在の同軸ケーブルを含む方式から、光ケーブルの方式へ切り換えます。</p>					
3. 目標値または実施により求める効果					
<p>ケーブルテレビの4K・8Kの視聴に必要な光化等を促進します。また、現在の風水害に弱い同軸ケーブルから災害に強い光ケーブルに更新することで、災害時等における地域情報基盤の整備充実を図ります。</p>					
(単位: 万円)					
財源	国の負担	16,295	経費内訳	工事請負費	28,741
	市債	16,840		委託料	3,850
	市の負担	17		その他	561

